

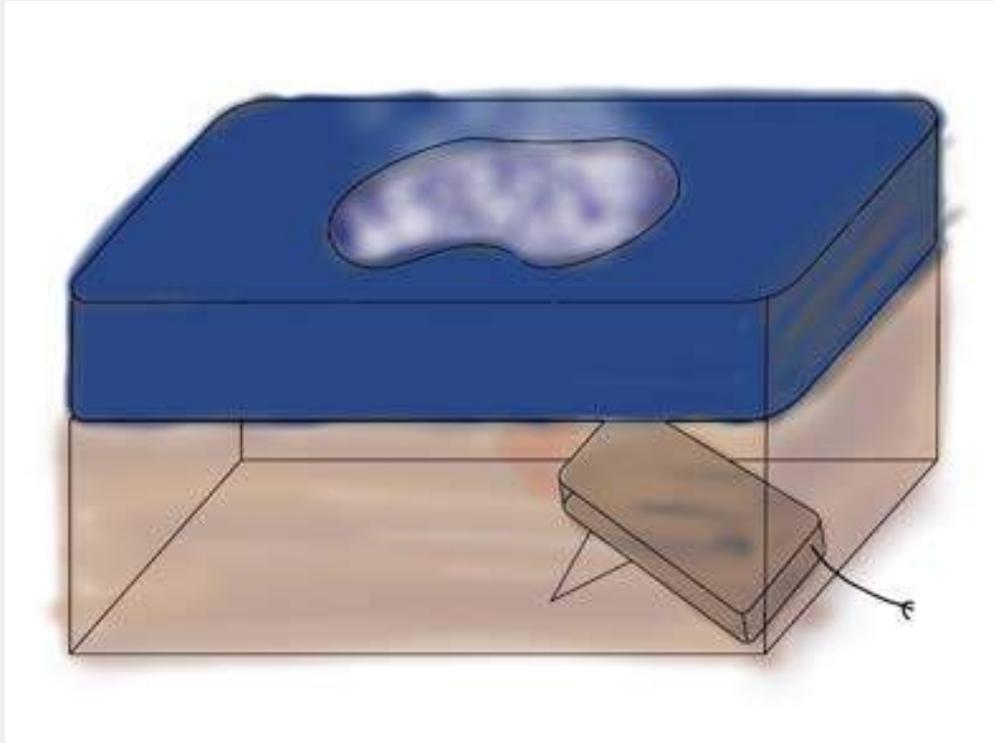
# EYE MAKURA

名古屋市立大学 経済学部 鵜飼ゼミ ease

商品説明資料

ほんの一眠り、頑張るあなたに本当の休息を

# EYE MAKURA



私達easeは、「ほんの一眠り、頑張るあなたに本当の休息を」というコンセプトで、EYEMAKURAという商品の開発を行っています。ホットアイマスクの効果と、昼寝枕の機能を備えた、新しいタイプのガジェットとなっており、パソコンを使用したデスクワークによる目のストレスをケアする商品です。

- 01. EASEの目指す未来
- 02. ストレスと目の疲れ
- 03. デスクワークによる目の疲れの実態
- 04. 仕事の休憩時間の過ごし方
- 05. 現在、推奨されている疲れの解消方法
- 06. EYE MAKURA の誕生
- 07. EYE MAKURA の機能
- 08. EYE MAKURA 事業展開

# 01. EASEの目指す未来

# ease

名古屋市立大学 経済学部 マネジメントシステム学科

鶺鴒ゼミに所属

Youth Enterprise に参加するため

ゼミ内でグループに分かれ、SDGsに関する新規事業を行なっています。

私たちeaseは、SDGsの13項目のうち

## 3.すべての人に健康と福祉を

を実行する商品開発をしています。

きっかけ

最近、ストレスが多くない？



商品開発のきっかけとなったのはSDGsに関する事で自分達が身近に感じるもの、疑問に感じるものを考える中で、ストレスを感じることが多いという意見でした。

# ストレスとは？

- Q ストレスって何がある？どんな影響がある？
- Q ストレスってどんな時に感じる？
- Q ストレス解消方法ってどんな方法がある？

そこから、ストレスについてグループで話し合いをしました。

ストレスの種類や影響、どんな時にストレスを感じるか、  
ストレスを解消するにはどうしたらいいかなど様々な意見が出ました。

また、新型コロナウイルスによる生活の変化でもストレスを感じるが増えました。  
オンライン授業、働き方の変化、これまでと変わった過ごし方からくる疲れによるストレスなどがあります。





## 3.すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

13の行動計画のうち、

3.4 2030年までに、**非感染性疾患による若年死亡率**を、  
予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

**※非感染性疾患** 不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒などの原因が共通しており、  
生活習慣の改善により予防可能な疾患(WHOより)。世界の死因第1位。

日本の取り組みの一つ：**メンタルケア**による自殺防止

ストレスと上手に付き合うことができ、すべての人が心身ともに健康である未来



ストレスを一人でかかえこむのではなく、  
積極的なストレスケアが当たり前の世の中になる。

これに関して、自分自身も、周りも、理解があり、  
誰もがストレスと上手に付き合える未来。

ストレスのイメージをマイナスから、

ポジティブに変えられるように！

## 02. ストレスと目の疲れ

コロナ禍による  
オンライン授業、テレワークの増加

ストレス原因の上位  
過労死や働き方改革への意識向上

インターネットや  
デジタルデバイスの普及  
によるストレス

働くこと、仕事に関する  
ストレス

体力、身体的な  
疲れによるストレス

人間関係のストレス



ストレスと上手に付き合う事ができ、全ての人が心身ともに健康である未来を目指す上で大切な事は  
自分自身でストレスケアをする意識の向上と、組織としてストレスケアの機会を設けられるよう、  
会社などの集団に向けた意識の向上だと考え、それらを目的としたストレスケア製品の販売を行う事業を考えました。



私たち、大学生のオンライン授業が増加



目の疲れ



働いている人も同じなのでは？

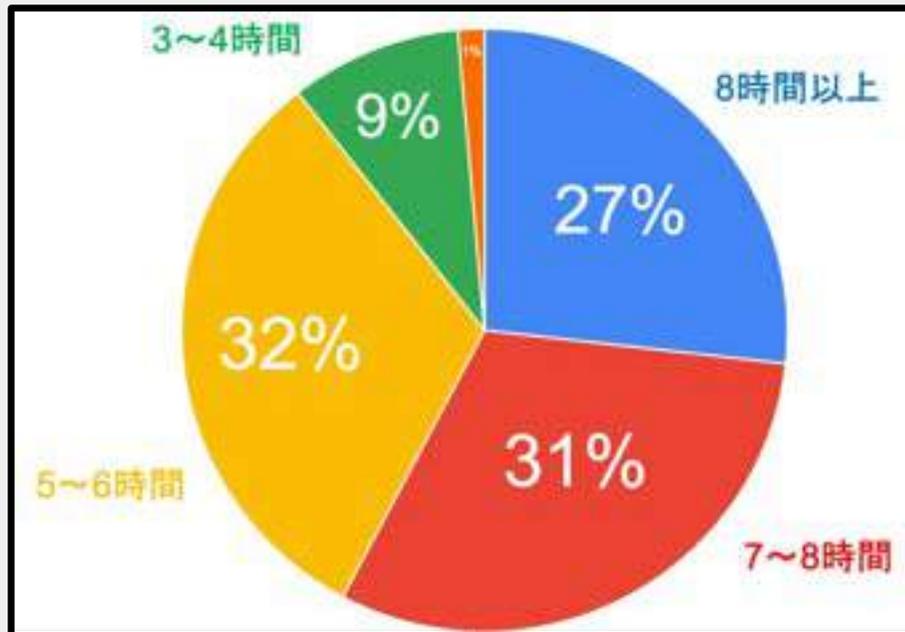
新型コロナウイルスの影響で、私達学生はオンライン授業が、社会人の方はテレワークが増加したと思います。  
オンライン授業の増加により、パソコンに向き合う時間が増え、これまでになかった疲れを感じるようになりました。

特に1日中画面を見ることによる目の疲れは大きく感じます。  
1日中パソコンなどに向き合うような仕事をしている人も同じような疲れを感じているのではないかと思いました。

## 03. デスクワークによる目の疲れの実態

# 目の疲れ

仕事でパソコンやスマートフォンに向き合う時間は1日でどれくらいですか。



ease 独自調査 (2021年10月)

○ 7時間以上が半数を超える

○ 休憩時間は昼の1時間程度

休憩時間のほとんどは、食事  
スキマ時間はスマートフォンを使用

仕事でどこに疲れを感じますか



目・肩・腰に  
疲れを感じている人がほとんど

肩、腰etc. 身体の疲れ

→ ストレッチ、散歩で解消できる

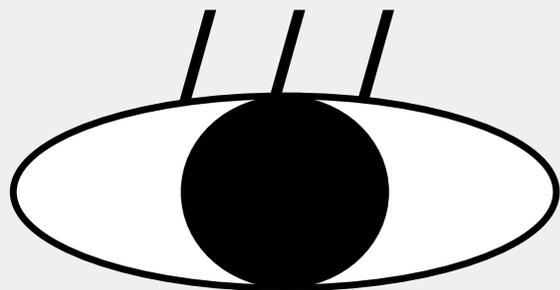
目の疲れ

→ 目薬の使用

それ以外は、解消方法がわかりにくい

使い捨てホットアイマスク  
割高に感じ、毎日使いしにくい

家電のホットアイマスク  
大きく、持ち運びできない

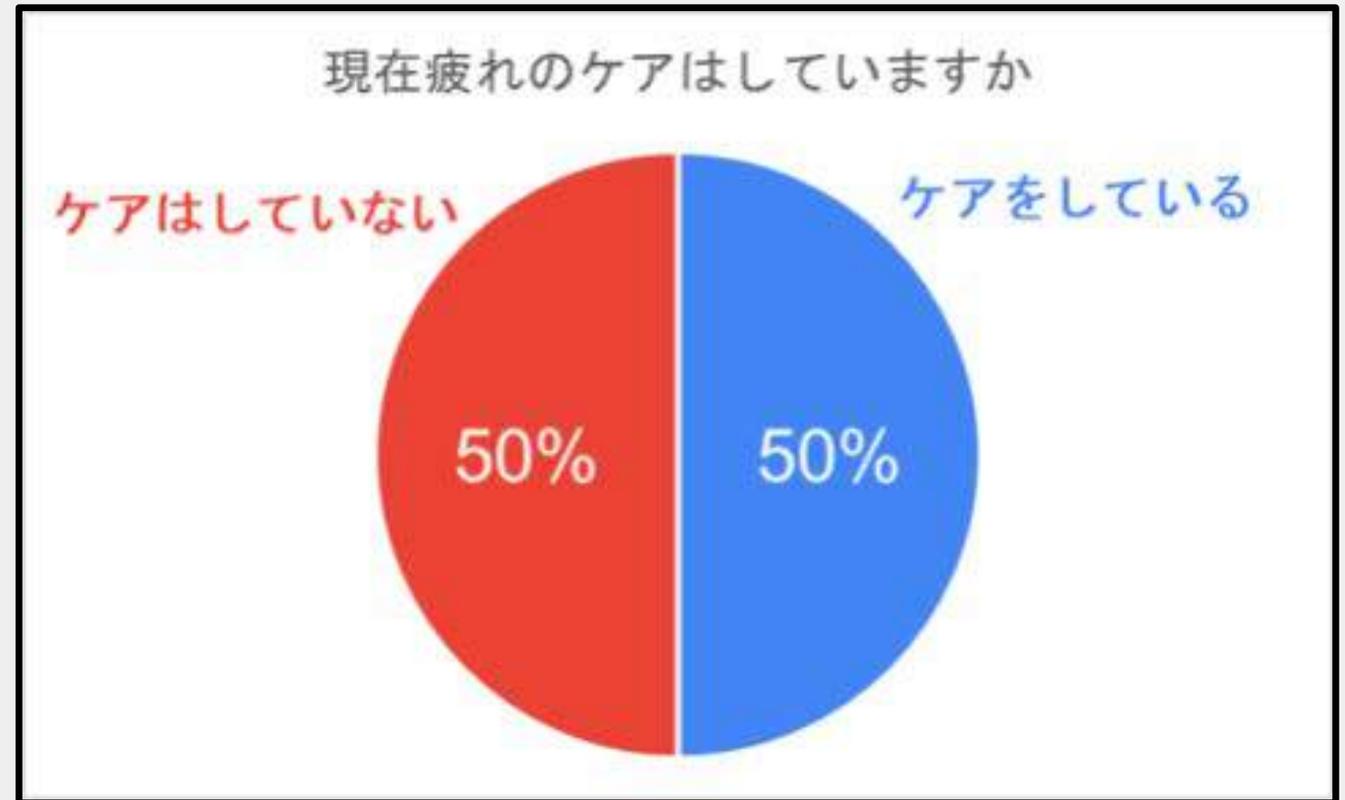


目にストレスを感じて働いている人が多く、  
解消法がわかりにくい

目にストレスを感じて働いている人は多いのに、みんなが利用する、これと言った解消法がないというのが現状です。

疲れのケアをしていない人は

約 50%

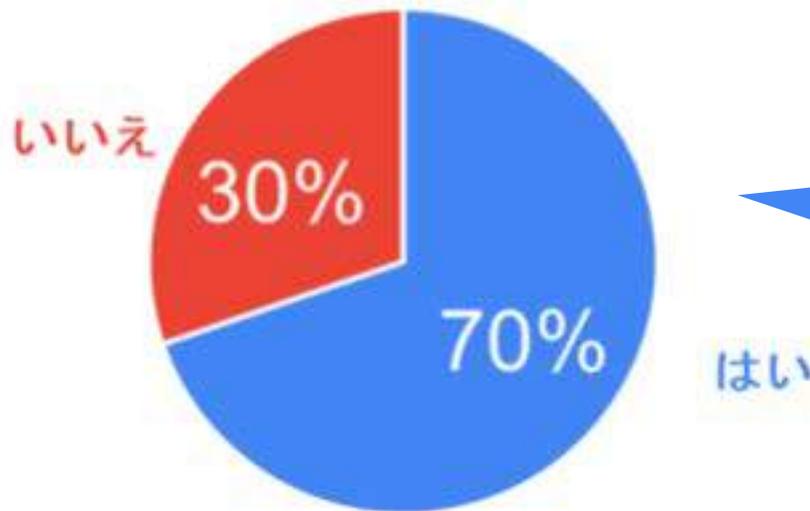


ease 独自調査 (2021年10月)

どのように疲れのケアをしていいかわからないから疲れのケアをしないという人もいて、疲れのケアをしてない人は半分にもなっています。

本当は、疲れのケアをしたい。でも出来ない

休み時間に疲れのケアをしたいと思いますか



時間がとれない

短時間なら…  
時間があれば…

作業効率  
アップを期待

ease 独自調査 (2021年10月)

疲れのケアをしたいという人は70%にもものぼっていて、作業効率を上げるために必要な事だと感じる人が多くいることが分かります。また、ケアをしたいにいいえと答えた人の理由としてケアをする時間が無いと答える人が多く、短時間でケアできれば、よりケアをする人したいと思う人が増えるのではないのでしょうか。

# 目のストレス解消に求められること

時間がない、面倒くさい、わからない

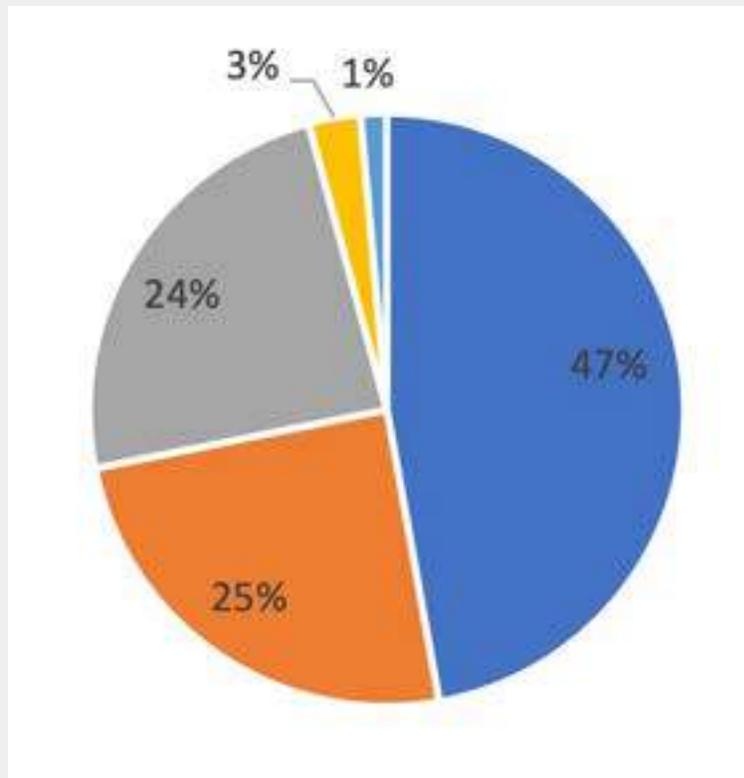
→ 簡単で、短時間で、ケアできる！

休憩時間にスマホを使用する人が、少しでも目を休む時間を作れるように

ケアをする時間が無い、ケアをするのが面倒くさい、ケアの仕方が分からないというひとのためにも、目のケアが簡単に、短時間で出来る事が求められるのではないかと思います。

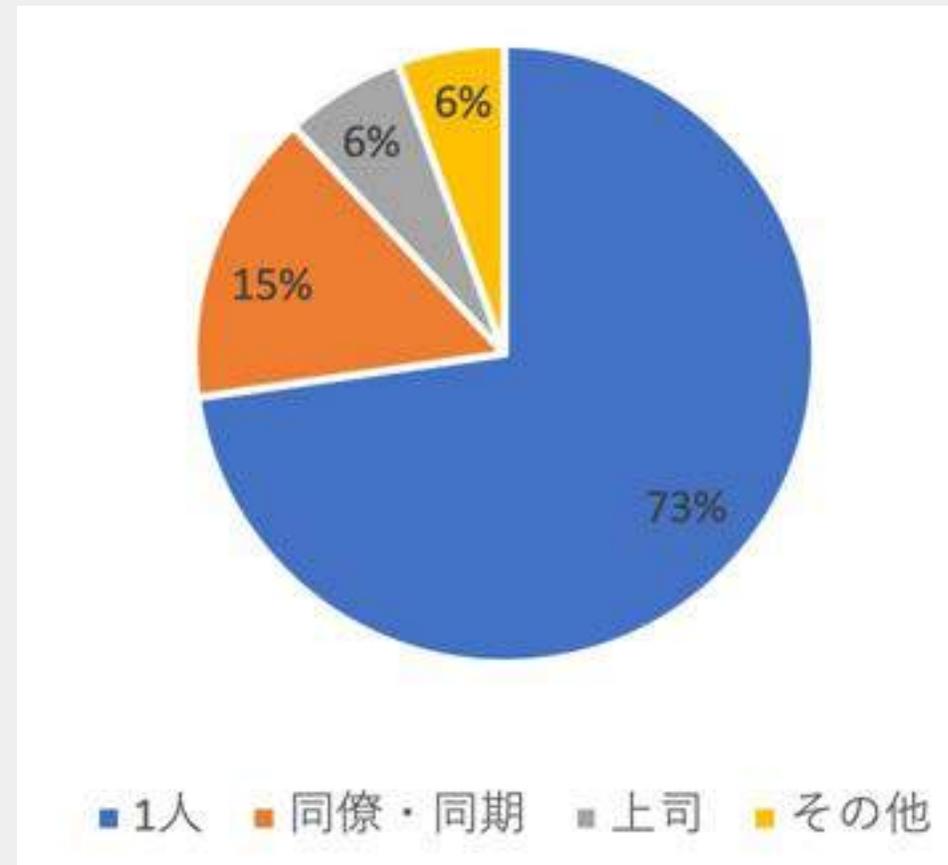
## 04.仕事の休憩時間の過ごし方

Q休憩時間、どこで過ごしていますか？



■ 自分のデスク ■ 職場内施設 ■ 職場外 ■ 在宅 ■ その他

Q休憩時間、誰と過ごしていますか？



■ 1人 ■ 同僚・同期 ■ 上司 ■ その他

ease 独自調査

コロナの影響もあり、休憩時間を会社内で1人で過ごす人、そして自分のデスクで過ごしている人がほとんどであることがわかりました。

自分のデスクで 1人で過ごす

→ 個々にあった過ごし方。

疲れのケアに時間をかけることができるのではないかと。

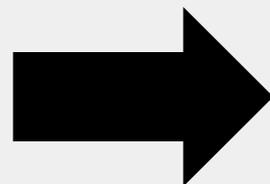
## 05.現在、推奨されている疲れの解消方法

休憩時間に疲れを取るために、多くみられた方法

# 仮眠、 昼寝



以前のイメージ サボっている



集中力、効率アップのため、

推奨する企業の増加

(ex. Nike, Uber, Google)



パワーナップ、シエスタ、1分間睡眠法…

- 脳の疲労回復
- 目の休息
- 体力回復
- ※睡眠負債の解消

※日頃の睡眠不足による慢性的な寝不足と、  
それに伴う健康問題のこと

## 効果的な昼寝のポイント

① 20分以内

② 横になる  ≡ 机でうつ伏せになる



③ 15時まで

机でうつ伏せで寝る



肩や首が痛くなった経験はありませんか？

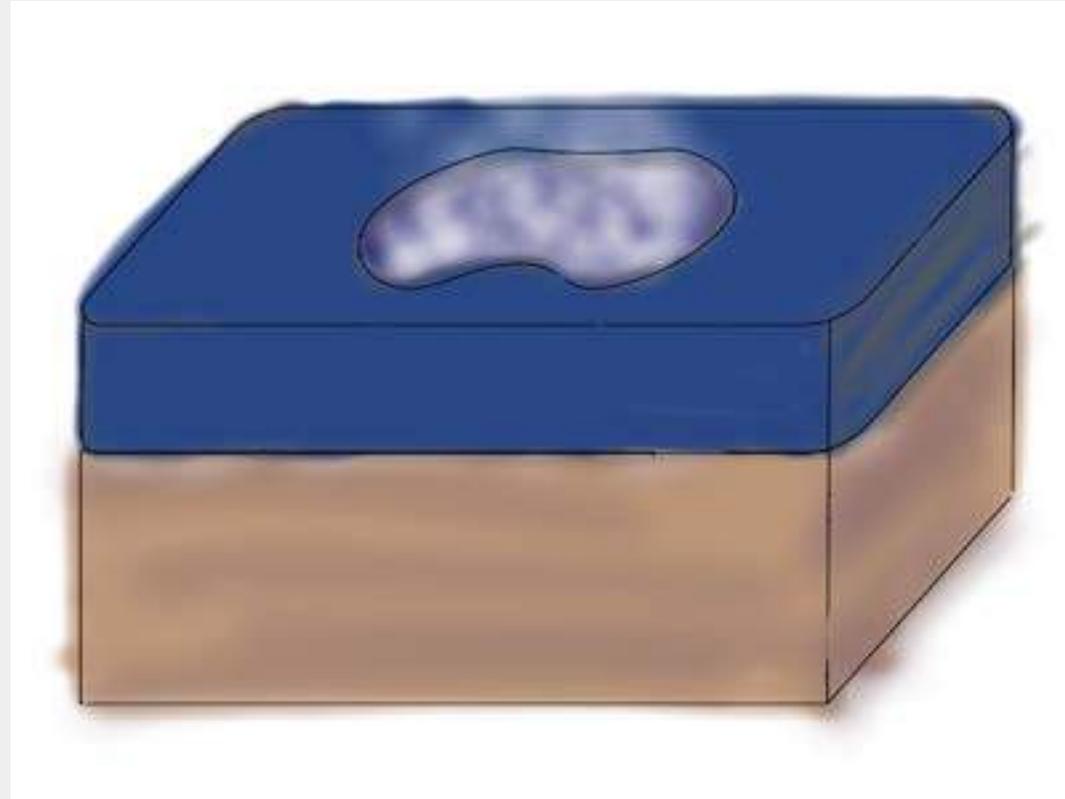
いい商品が  
あったらいいな



## 06.EYE MAKURA の誕生

ほんの一眠り、頑張るあなたに本当の休息を

# EYE MAKURA



EYE MAKURAは、弾力性のあるクッションをデスク上で昼寝枕として使用することができ、目の周りを温めることで、疲れやストレスを解消することができます。

# EYE MAKURA CONCEPT

ホットアイマスク

×

昼寝まくら

=

目の疲れケア

近年増加した長時間のパソコン仕事やスマホ画面で疲れた目を

誰でもどこでも、すぐにケアできる、ホットアイマスク兼昼寝まくら

## 使用方法

### Point 1

休憩時間のデスクで使用

### Point 2

パソコンやスマホを使用したデスクワークによる  
目の疲れを温めて癒す

枕の中にヒーター内蔵

### Point 3

うつ伏せで使用することで適度な昼寝ができる

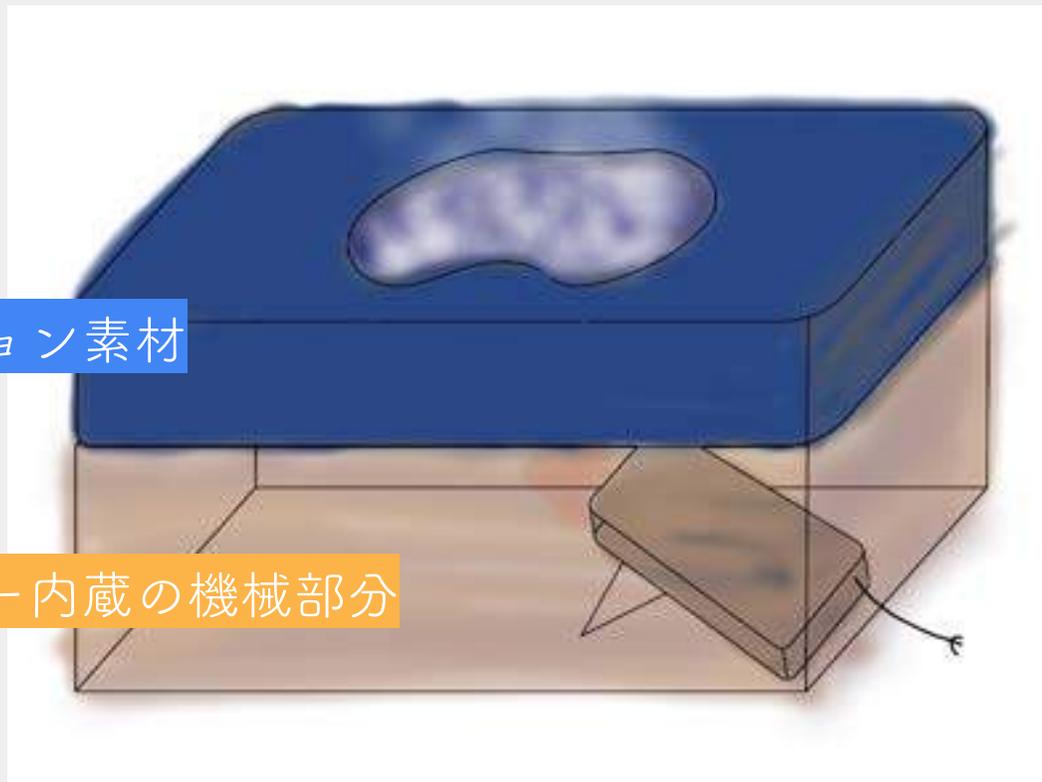


## 07.EYE MAKURA の機能

# 機能

クッション素材

ヒーター内蔵の機械部分



- ① クッション素材の上部と、ヒーターが内蔵されている機械部分の二層構造。

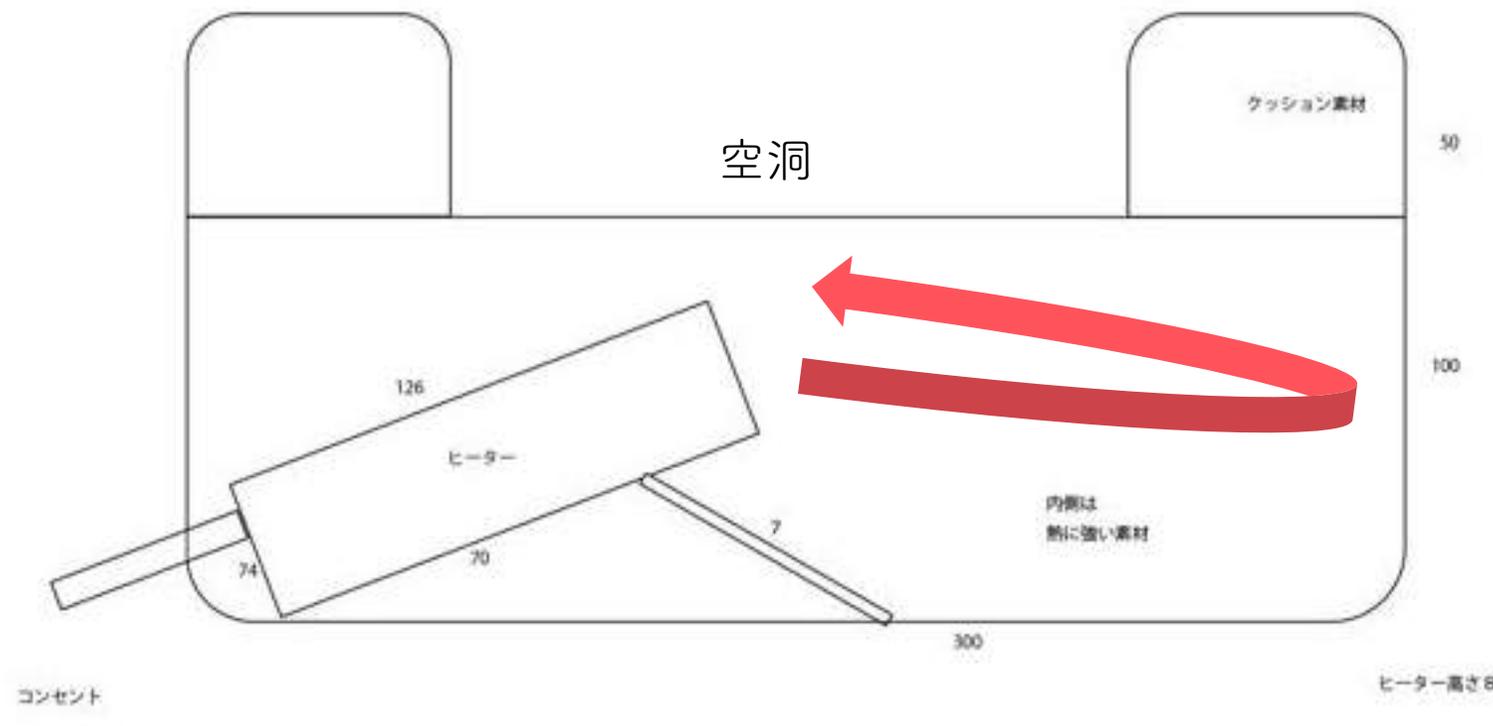
クッション素材の上部と、ヒーターが内蔵されている機械部分の二層構造となっています。二層構造にすることで、それぞれでメンテナンスが可能であり、クッションの柔らかさと、機会の頑丈さが両立できます、

# 機能



側面から見た図

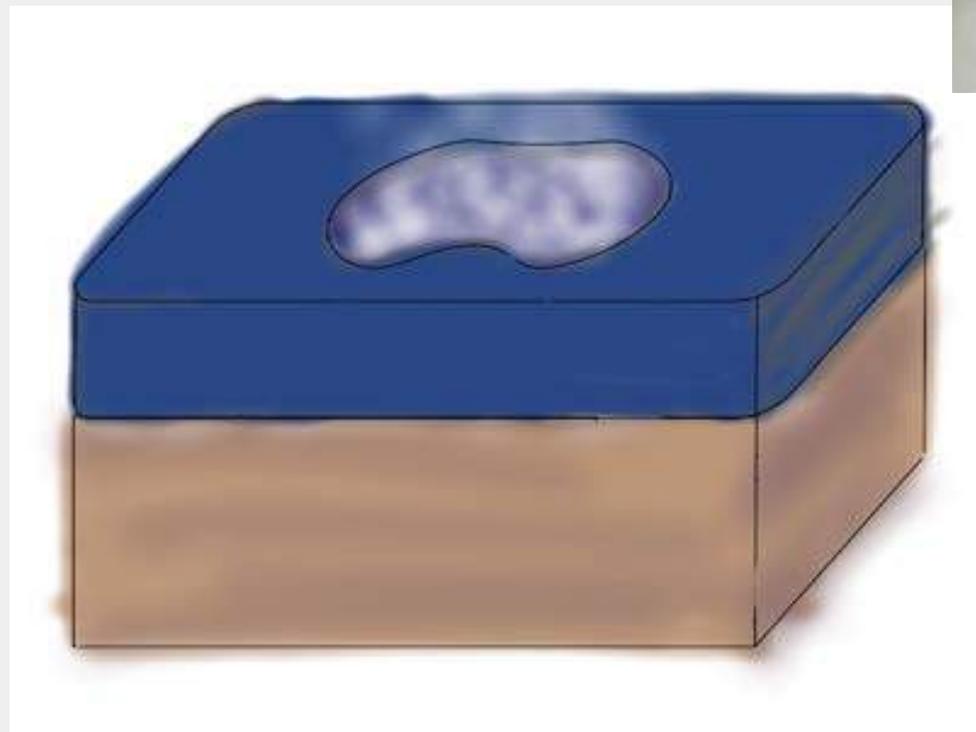
目  
150



- ② ヒーターで空気がすぐに温まるので、時間がかからない。  
使用後は、空気が逃げるため、すぐ冷める。安全性。

内側の素材は、安全性を高めるために、熱に強い素材にします。

# 機能

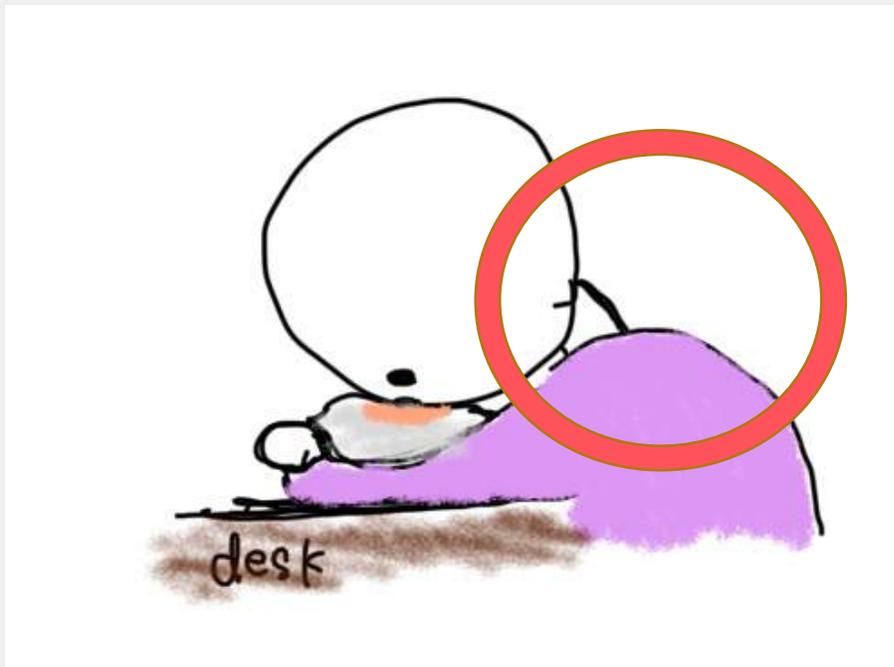


- ③ 顔に触れる部分のクッション素材は低反発で、誰にでもフィットする。

二層構造のクッション素材は、低反発のものとし、誰にでもフィットしやすくします。さまざまな素材を検証した結果、肌触りと弾力性に拘りました。サイズ感は使いやすい幅（15センチ）としています。

# 機能

負担がかかりにくい高さ



- ④ ある程度高さがあり、狭いデスクでも使いやすく、首や肩などへの負担が少ない。

パソコンを使用したデスクワークでは、目の疲れだけでなく、肩や首、腰といった部分にも疲れが出るという意見がありました（ease独自のアンケート調査より）。

これを改善するため、少し高さを確保しました。  
机にうつ伏せになってもスペースを取らないため、狭いオフィスでも、使いやすくなっています。

# 機能

気軽さを重視し、できるだけ運びやすく、どこでも使えるような機能を想定しています。

- ⑤ 使用場所を変えるのに運びやすい大きさ（サイズ感はティッシュ箱～B5サイズ）
- ⑥ 充電（USB）または給電式（USB、モバイルバッテリー）

## EYE MAKURA の効果

- ★ 目を温めることで、目の疲れを解消できる。
- ★ 高さのある枕  
→ 首、肩の負担を減らす
- ★ ケアをしているという意識より、  
寝ていたらケアもできたという感覚

ケアの面倒くささを感じにくくなっている。

## EYE MAKURA の効果

- ★ 「休憩時間にケアをするなら、2,3分～10分確保できる」という声。  
→ すぐに温まるので、時間を無駄にしない
- ★ 実際、仮眠を取り入れている人もいるが、  
適度な昼寝は必要だと思っている人が多く、目の休憩になる。
- ★ 睡眠に入らなくても目を強制的に休ませることが可能。

伏せて使うため、スマホなどを触れなくなり、目を休められる。

休憩後のパフォーマンス向上。疲れを溜めない！

# デザイン

働く幅広い世代に受け入れられる

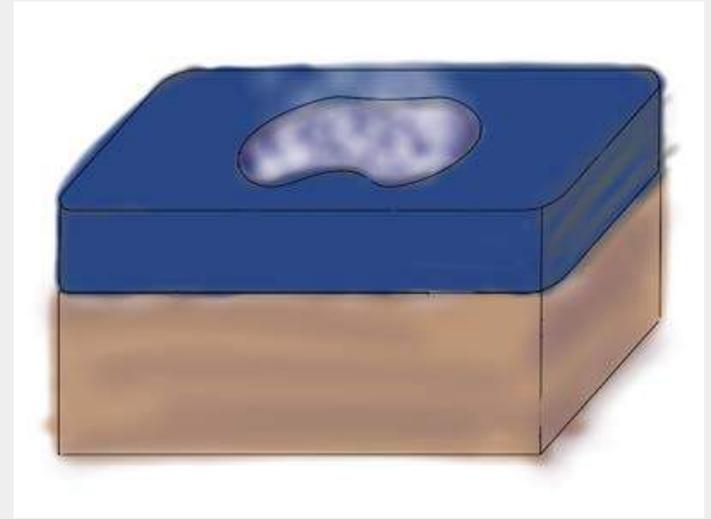
シンプルで洗練されたデザイン

機械感をできるだけ抑え  
おしゃれで、使いやすい見た目

まくらカバーは洗えるため、  
デザインバリエーションが広がる。

洗濯等が可能で、衛生的

丸みのあるデザインで  
視覚的な癒し効果を目指す



まくらカバーの  
販売によって  
長く使用してもらいたい

## 08.EYE MAKURA 事業展開

ストレスと上手に付き合うことができ、すべての人が心身ともに健康である未来

自分自身でストレスをケアする意識の向上と、

企業をターゲットに販売

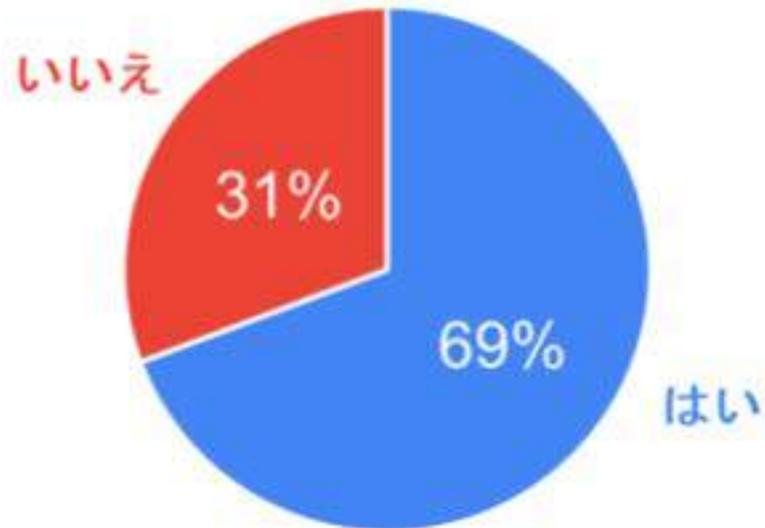
組織としてストレスケアの機会を設けたり、  
個人に働きかけるという集団に向けた意識の向上

を目的とした、ストレスケア製品の販売をする事業。

企業がストレスケアの機会を設け、より多くの方がケアをしやすい環境になるように、  
企業をターゲットに販売していきたいと考えています。

## なぜ企業がターゲットなのか

疲れを癒すための時間を  
会社に提供してほしいですか(昼休憩とは別)



食事としての休憩時間だけではなく

目の疲れをケアする時間のように

会社から設定して欲しいという意見が **7割**。

- ・ ストレスケアを始めるきっかけを作る（企業から働きかける）



企業に販売して、社員に配ってもらう

→自分で時間が取れない人に、企業側から働きかける

①知ってもらう ②使ってもらう ③広めてもらう

- ・ ストレスケアが当たり前のことになる（個々にあったストレスケア）

企業から働きかけてもらうことで、知ってもらう、使ってもらう、それを周りに広めてもらうという流れを作っていきたいです。  
この商品をもっときっかけにストレスケアが当たり前になり、個々にあったストレスケアを考える社会になってほしいです。

## 企業におけるメリット

- ・商品を購入することで、福祉に力を入れている証拠になる。
- ・会社として、ストレスケアに理解があり、意識が高いというアピールができる。
- ・就活生にこの会社で働きたいと思ってもらえる。

## 使用する個人におけるメリット

- ・自分で時間が取れない人に、企業側から働きかける社員が、より使いやすくなる環境

end